

弓道場建設に係る概算経費比較表

●新体育館建設費用のうち弓道場の建設費用の概算

	想定面積 (㎡)	㎡単価	計 (税込8% : 円)	合計 (円)	地方債 (円)
工事費	722.30	451,000	325,757,300	338,520,300	195,557,000
委託費 (建築設計費等)	722.30		12,763,000		

★新体育館建設経費 (一般財源)

総事業費 - 地方債 = 142,963,300 円

○単価根拠

新体育館での想定面積は現行面積に削減率を乗じたもの $895\text{㎡} \times 80.7\% \approx 722.3\text{㎡}$

工事費単価は平成29年8月7日 経済・体育施設に関する調査特別委員会提出資料より

委託費 (建築設計費等) については新体育館建設費概算費用から按分

地方債は公共施設等適正管理推進事業債の交付税算入率50%分

●大規模改修した場合

	対象面積 (㎡)	㎡単価	計 (税込8% : 円)	合計 (円)	補助金等 (円)
耐震診断設計委託費 (診断のみ)	895.00		4,082,400	231,531,260	1,360,000
耐震診断設計委託費 (補強計画のみ)	895.00		2,457,000		819,000
大規模改造工事設計業務委託	895.00		11,033,280		
耐震補強工事費	895.00	50,300	45,018,500		15,006,000
大規模改造工事費	895.00	183,600	164,322,000		
大規模改造工事管理業務委託	895.00		4,618,080		
			合計	231,531,260	17,185,000

★現施設を大規模改修 (耐震補強含む) した場合の経費 (一般財源)

総事業費 - 補助金等 = 214,346,260 円

○単価根拠

耐震診断委託料及び、大規模改造工事委託料は官庁施設の設計業務等積算基準と業務量の算定にて算出。

耐震補強工事費は「住宅・建築物安全ストック形成事業」の補助限度額にて算出。※平成31年度中に耐震補強工事に着手するという条件で設定。

飯塚市弓道場の大規模改造工事費は「自治総合センター」出典のその他の公共施設の単価にて算出。

○補助金等

耐震補強工事補助金は、「スポーツ施設 (社会体育施設) 整備事業の社会体育施設耐震化事業」(文部科学省) を活用すること (交付率1/3) とし、耐震診断の結果、補助対象となるとの想定のもとで算出。

●新築した場合

	対象面積 (㎡)	㎡単価	計 (税込8% : 円)	合計 (円)	補助金等 (円)
工事費	895.00	451,000	403,645,000	419,459,000	0
委託費 (建築設計費等)	895.00		15,814,000		

★新築した場合の経費 (一般財源)

総事業費 - 補助金等 = 419,459,000 円

※上記は新体育館敷地内に建設した場合であり、現地建て替えとなれば解体費、造成費が別途必要となる。

○単価根拠

大規模改造工事費は「自治総合センター」出典の単価にて算出。

委託費 (建築設計費等) については新体育館建設費概算費用から按分。